

## 「ファーストリテイリング」に対する指数算出上の取り扱いについて

日本経済新聞社は、日経平均株価の構成銘柄である「ファーストリテイリング (9983)」について、今年10月に予定する定期見直しの基準日である7月末時点のウエートがキャップ水準（※）を超過したため、以下のとおり10月1日からキャップ調整比率を設定します。

### キャップ調整比率の設定・変更（10月1日）

銘柄	現 → 新	事由
9983 ファーストリテイリング	未設定 → 0.9	キャップ水準の超過

（※）2024年10月の定期見直し以降のキャップ水準は10%。

キャップ調整比率を設定した銘柄は、「株価換算係数」に代えて、「キャップ調整済み株価換算係数」を用いて、指数算出に用いる採用株価の調整を行います。今回のキャップ調整比率の設定により、10月1日以降、ファーストリテイリングのキャップ調整済み株価換算係数は「2.7」となります（現在の水準は3）。

今回のキャップ調整比率の設定は、2022年7月27日付「日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定について」で公表した「構成銘柄のウエートに上限を設ける『ウエートキャップ』を導入」を適用したものです。毎年春（4月）と秋（10月）に実施する定期見直しの際に、基準日時点でのウエートがキャップ水準を超えた銘柄について、当該定期見直しの適用日にキャップ調整比率を0.1刻みで設定・変更するルールです。

なお、今回のキャップ調整比率を適用した状態でも、来春の定期見直しの基準日である2025年1月31日時点のウエートが10%以上であった場合には、ファーストリテイリングのキャップ調整比率を2025年4月1日から0.8に引き下げます。5%以上、10%未満であった場合は、キャップ調整比率は0.9のまま据え置きます。仮に同時点でウエートが5%未満となっていた場合は、キャップ調整比率の設定を同日に解除します。

ニュースタグ：重要なお知らせ、日経平均、キャップ調整比率、株価換算係数

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 ([index@nex.nikkei.co.jp](mailto:index@nex.nikkei.co.jp))